

第4回ふれあい観察会

大百池公園周辺のバードウォッキング ～冬の鳥を探そう～

芳我 めぐみ（千葉市）

日 時：2014年2月22日（土）9～12時 天候：晴れ

参加者：31名（うち子ども3名）

担当指導員：綾富美子・岡田敬子・木下順次・渋谷雄二・芳我めぐみ・
藤田英忠・渡邊清江（事務局：川北紀子）

昨年同時期に行った大百池公園周辺のバードウォッキングが好評だったことから、今年度も同所での開催となりました。観察コースを少し変更し、『おゆみ野学園駅→明徳学園の湿地→学園の林縁と住宅地の間の道→谷津田→大百池公園 池と高台の森』となりました。短いながら多様な環境が多種類の鳥に出会える期待を持たせてくれます。珍鳥に出会えなくても身近な鳥たちの声、姿、形、生態を知るのにはとてもよいコースだと思いました。出現した鳥が36種ということからもお分かりいただけると思います。

このコースでの最初の探鳥地？明徳学園の湿地ではモズの雌雄をゆっくり観察できました。雌雄の見分け方（過眼線の有無）を示し、望遠鏡で見てもらうと「可愛い！」と雌のモズは大人気。同所の高い枝にはカワラヒワが数羽。「キリキリ コロコロ」と美しい声、飛翔時には翼の黄色が目立ちます。谷津田までの道ではこの他メジロ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、コゲラなどに出会いました。住宅の庭木と、残された林を盛んに行き来していました。庭木の花・実は小鳥の大切な食糧ですね。

住宅地のある台地から階段を降りると大百池に続く田んぼに出ます。千葉市と保全協定を結んだ「染谷津」もこの中にあります。ここではムクドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ツグミなどを観察しました。田んぼの向こう側の灌木にモズの姿。それに望遠鏡を合わせていると「えっ」キジの雄が偶然入ってきました。大きいし、美しいし参加の人たちも興奮して見てくれました。よかったです！ 堪能したところで移動。近くの灌木の下でアカハラ、藪から出てきたウグイスも目撃。上空にトビ、カワウ、オオタカも見られました。参加者の一人が「上見て、枝見て、耳そばだて結構忙しいですね」と言いつつ楽しそう。そうです！ 目も耳もフル回転。いいことです。

大百池にはバン、オオバン、カイツブリ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモなどが泳いでいます。バンとオオバン、ここでは公園の鳥らしく近くに寄ってきます。おかげでしっかり皆さん判別できました。最後に池に隣接する高台の森「城の台」に。昨年ルリビタキが見られた広場ではシジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、コゲラ、エナガの混群が見られました。下に降りて餌をついばみ枝に戻るシジュウカラは特に観察し易かったです。先に進むと一瞬シロハラの姿。落ち葉をひっくり返し、餌をとる姿は、とうとう見られず少々残念。大百池に戻り鳥合わせを行い、感想をお聞きしました。キジが美しかった！ ゆっくり観察できてよかったです。楽しかった。など好評でした。